

そうべつ 議会だより



中学生フィンランド国派遣（海外研修）事業

■ 第3回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 決算審査特別委員会	5
■ 委員会レポート	11
■ 薫風	12

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会

(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

No. **71**
■2018年11月■

可決。10月6日に役場出張所を廃止！

平成30年第3回定例会は、9月6日から14日までの9日間の会期で開催されました。1名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。教育委員会委員の任命のほか、議案11件、報告2件、意見案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第4回臨時会

第4回臨時会は、7月17日に開催され、議案1件を審議し、可決しました。

平成30年度壮警町一般会計補正予算（第4号）について

3773万2千円追加

補正後の予算総額

39億2816万1千円

立香地区頭首工災害復旧工事

3693万2千円追加

質疑

第2回定例会で補正している工事だが、今回増額変更する理由と工期について。

答弁

国との協議により護床ブロックの基礎を割りべり石からコンクリートに変更することによるもの。工期は年度末を予定。



剣道全国大会出場報告

第5回臨時会

第5回臨時会は、9月3日に開催され、専決処分承認につ

いてのほか議案2件、報告1件を審議し、それぞれ可決しました。

工事請負契約について

立香地区頭首工災害復旧工事
契約額：1億2204万円
落札業者：道栄・壮建 特定建設工事共同企業体

質疑

工事落札率は。

答弁

97.6%である。

第3回定例会

教育委員会委員の任命について

教育委員である金子祐一氏を

引き続き任命することに同意。

壮警町表彰条例に基づく表彰について

質疑

第5次行政改革実施計画で永年在任功労表彰を平成31年度で廃止と示されたが、現在の検討の状況と考えについて伺いたい。

答弁

廃止については、壮警町表彰審議会委員の意見を踏まえながら検討を進めたい。

壮警町役場出張所設置条例を廃止する条例の制定について

質疑

利用者減で出張所の廃止もやむを得ないと理解するが、廃止についての地域住民への説明をどのように行っていくのか。

答弁

地域住民への説明会の開催、町広報誌での周知や直近1年間の利用者へはがき等でのお知らせ等を予定している。

平成30年 第3回

壮瞥町企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

雇用助成金の交付内容について、また、従業員の住宅確保等の支援策について。

答弁

雇用助成金は3年以内の期間で1年以上雇用しているものに交付する。中小企業が単独で寮など住宅を確保するのはハードルが高いと思われるので、町の支援策については様々な角度から検討したい。

質疑

企業立地促進による財政効果は。

答弁

固定資産税の増、人口増による効果があると思うが、具体的な数字は把握していない。

質疑

用地取得助成を廃止した考えは。

答弁

企業立地要望が増加傾向にあり、その全てに対応することが不可能であること。

質疑

既存施設を利用した企業立地要望の状況は。

答弁

観光施設として1件、農産加工場として1件を把握している。

平成30年度壮瞥町一般会計補正予算(第6号)について

1億3992万7千円追加

補正後の予算総額

40億7288万8千円

下立香地区農業用排水路横断管設置工事

100万円追加

質疑

前年度に施工した用排水路補修工事に不具合が生じたことによる改修経費の計上とのことだが、本工事の内容と不具合の原因は。

答弁

前年度の工事で、用排水路の

導水管の形状を変更したところ、従前の4分の1程度の水しか流れなくなり、水田耕作に影響が出ているため、改修工事が必要になった。原因を色々調査検討したが明確にはわからなかった。



滝之町商店会盆踊り

道路橋梁維持経費

900万円追加

質疑

建部地区での雪堆積場の確保に要する経費の内容について。

答弁

従前、雪堆積場として利用していた民有地が利用できなくなったため、建部地区の町有地を新たな堆積場として整備するた

め、立木等の撤去や地均し等を行う経費となっている。

専決処分の承認(平成30年度壮瞥町一般会計補正予算(第7号)について

633万4千円追加

補正後の予算総額

40億7922万2千円

その他公共施設・公用施設災害復旧費

75万円追加

質疑

パークゴルフ場周辺の倒木等の処理の内容と、この件についてのパークゴルフ協会との協議は。

答弁

パークゴルフ場内のトドマツ等5本程度とパークゴルフ場前の立木を伐採するもの。施設内の安全管理は町が判断して行うもので、パークゴルフ協会との協議は行っていない。

意見書

・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

1件の意見書を採択しました。

いっぱん質問 Q & A

【高齢者の雇用対策について】

Q 高齢者に特化した雇用対策は？

A 高齢者の様々なニーズに応えられる受け皿組織づくりの研究を進める。



森 太郎

町民に十分浸透していないことや、町発注分の求人登録を見送ったこと等が要因としてある。

住民福祉課長

一般的シルバー人材事業等の形態として

は、請負や派遣、職業紹介等があり、従前の高齢者事業は請負と派遣等が中心だったが、社会福祉協議会が行っているのは職業紹介事業であり、今までのニーズとは違う方式での運営になっていることも要因の一つ。

町長 求職者が伸びないことについては、町内の人手不足が深刻化している実態があることと、事業が始まったばかりで内容が

町長

議員 高齢者事業団が解散し、高齢者の雇用対策として社会福祉協議会で取扱っている「無料職業紹介所」の実績と高齢者の雇用の状況は。

町長

8月時点で15事業所から72名の求人があったが、求職登録者は5人で採用実績が5人となっており、求職者数は伸び悩んでいる。

議員

求職実績が伸びない要因と、現状の職業紹介事業の在り方の問題は。



じゃがいも交流（収穫）の様子

議員

一般質問のきっかけになった高齢者事業団の解散の経緯に関して問うが、解散に関する報告の時期と、本年6月の解散と同時に一切の関係書類が廃棄処分されたとの情報もあるが、これは疑念を持たれかねない行為であり、このことを町は承知していたか。また、町の補助金交付団体としてどのような見解をお

持ちか。

住民福祉課長

解散する旨の報告は29年10月頃に受けたが、書類廃棄の件については承知していない。関係書類の保存義務等については補助金交付規則の中では言及しておらず、直ちにそれが問題であると指摘できるルールになっていないが、今後の補助金事務の取扱いの中で検討したい。

議員

高齢者に特化した雇用対策を進める考え方は。

町長

高齢者の雇用対策については、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、健康の維持増進の重要性は益々増していくと予想されるので、これまでの事業団のような請負業務や派遣業務等、様々なニーズに応えた事務事業を適切に執行できる受け皿的組織づくりや人材確保に向けた研究を進めていく。

平成29年度決算認定!!

平成30年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された「平成29年度壮警町各会計歳入歳出決算認定について」は、決算審査特別委員会において、9月11日・12日の2日間で書類を審査し、14日に審議を行い、認定することを決定し、14日の本会議で可決しました。

■平成29年度壮警町各会計決算状況

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	残額の措置
一般会計	3,966,698,673円	3,838,214,603円	128,484,070円	翌年度へ繰越
国民健康保険特別会計	492,512,997円	460,735,900円	31,777,097円	翌年度へ繰越
後期高齢者医療特別会計	44,181,280円	43,459,576円	721,704円	翌年度へ繰越
介護保険特別会計	354,705,418円	341,257,436円	13,447,982円	翌年度へ繰越
簡易水道事業特別会計	207,592,525円	207,090,964円	501,561円	翌年度へ繰越
集落排水事業特別会計	258,536,199円	258,235,003円	301,196円	翌年度へ繰越

一般会計

歳入

町税

質問

29年度の町税の町民税と固定資産税で不納欠損金が生じたが内訳は。

答弁

町民税の不納欠損は生活保護受給2名2万円。固定資産税で29年度分の未納は3年が経過した者2名で2万円。滞納繰越は5名52万3千円で内訳は倒産1件、死亡4名、相続者のいない者1名で合計54万3千円が不納欠損金となった。

分担金及び負担金

質問

農林水産業費の農業費負担金の滞納分351万円を不納欠損金として処理した事由は。

答弁

昨年も同様の質問があったが、

滞納分は平成9年度まで実施した国営事業農地開発事業負担金で、

事業実施者の1名が事業推進について異議を申し立て、事業負担金の返済を拒否、28年度は1年分を

不納欠損金処理した。引き続き負担金の残額の納入を働きかけてきたが、納入の意思がないことから

29年度も不納欠損金として処理した。

質問

同じ国営事業負担金547万円が収入未済額となっているが、どのように取り組む考えか。

答弁

この対象者は分割納入されており、29年度も73万円の納入があり引き続き分割納入をいただき、不納欠損が生じないようにする。

使用料及び手数料

質問

壮警町の公的住宅戸数と入居者数は。

答弁

壮警町の公的住宅(公営住宅・改良住宅・特定公共賃貸住宅・子育て住宅)は328戸。経年・住宅建設、将来の建設計画による入居していない住宅は95戸。

質問

29年度分の住宅使用料の未納が188万円もあるが未納戸数は。

答弁

29年度の未納戸数は22戸。

質問

住宅使用料の未納と滞納が年々増加傾向にあり、28年度分までの滞納額は354万円もあるが滞納戸数は。また、未納・滞納の重複戸数は。

答弁

滞納戸数は16戸。29年度分未納者と28年度分までの滞納対象者が重複している世帯は8戸。

質問

未納・滞納者に対する対策は。

答弁

28年度に対策マニュアルを作成、29年度から取り組んでいる。督促状の複数回送付、滞納の分割納入、敷金との相殺、連帯保証人への連絡等に取り組んでいるがまだ収納までの効果は上がっていない現状。



壮警高校生 全道技術大会入賞

歳出

総務費

一般管理事業

質問

道職員の派遣交流負担金で98

0万円ほどの支出があり、職務内容は水利権の整理と農業施設の維持補修を担当してもらうことであったが、水利権整理の進捗状況はどうか。また、役場組織内で職務を引き継ぐ考えを示していたが、その対応は。

答弁

道から派遣して頂いた専門的職員の努力により、多くの水利権の整理ができたが、まだ2地区が古い案件のため整理が進んでいない。今後は経済建設課内で引き継ぐことになっており、産業振興係で役割分担をして進めて行く。

役場庁舎等維持管理経費

質問

役場庁舎清掃委託料が24・25年度では300万円台であったものが、年々低くなり、29年度では当初予算200万円台が実績で140万円になっているが、この低額となっている背景は何か。

また、庁舎施設や地域交流センター施設など各施設ごとに発注を

行っているが、清掃や保守点検等を一括発注することでコストの削減につながるのではないか。

答弁

委託料が低くなっている要因としては、日常清掃や床やガラスの清掃回数を少なくしたことであると認識している。

また一括発注については、清掃の部分では今後検討して行きたいと思うが、保守点検等については、設置した機種によって業者が決まるのが現状であり、一括発注は難しいと考える。

防災諸費一般経費

質問

今回の台風や地震で、当町としても避難所を開設するなど、対応に苦慮されたようだが、その中でコミュニティFMは災害時の情報伝達ツールとして期待していたが、実際の放送を聞いていると、壮警町の情報が非常に少なかったように思う。壮警町には多くの観光客が来訪されていることもあり、

情報伝達は非常に重要であると思
うが、今回の教訓を生かし、コミ
ュニティーFMの事業所や関係機
関との対応改善の協議を進めるべ
きではないか。

答弁

今回の避難所の開設情報や誘導
等の対応としては、リストアップ
している災害弱者への個別訪問と
防災無線を使って行った。今年か
らインターネットによりスマート
フォンでもコミュニティFMを
聴けるようになったので、今後は仕
警町の情報をより多く放送できる
ように対応していきたい。

財産管理事業一般経費

質問

29年度の街路灯運営補助金で予
算が400万円に対し実績が29
0万円であった。LED化によっ
てピーク時の600万円と比べる
と半分以下に抑えられコスト削減
につながったと評価している。

そこで次に施設のLED化をす
るべきと思うがその考えは。

答弁

概算で施設のLED化の積算を
したところ、約3000万円かか
ることが分かった。全部取り替え
ると多額の費用がかかるので、施
設内での使用頻度を見極めながら
費用対効果を考えて取り組みたい。

企画費

ジオパーク推進経費

質問

ジオパーク再認定の審査見通し
と地球科学専門員の確保の見込み
は。

答弁

世界ジオパークから指摘された
部分がどう取り組まれているか日
本ジオパーク協議会による現地調
査が行われたもの。

職員確保については推進協議会
では職員を雇用できないので、洞
爺湖町が来年度に嘱託職員として
専門員の募集をかけており、これ
が解決できれば、世界ジオパーク
の再審査もつまづくと思う。



連合自治会パークゴルフ大会

企画調整用務経費

質問

ふるさと納税では、ふるさと応
援寄附金収入と、それに対する返
礼品や事業実施のための事務手数
料等の費用も発生しているが、寄
附の状況と返礼品の内容、事業実
施による地域経済への効果と財政
への影響は。

答弁

寄附口数は2295件となって

おり、返礼内容は28年度では野菜
類の人氣があったが、29年度はリ
ンゴやメロン等の果物類が増加し
ている。地域の農産物を送ること
により知名度アップや、納税によ
る財政的な効果がある。

質問

町民が他市町村へのふるさと納
税による控除で減収した事例があ
るか。

答弁

他市町村へふるさと納税した方
は6名16件、対象額40万円で、こ
れによる減収額は約4万円。

定住促進・まちづくり 推進事業

質問

「まちこんインそつべつ事業」
では数組のカップルが成立してい



るが、その後の状況把握と事業効果、事業の必要性と将来見通しは。

答弁

今年度は日帰りで事業を実施しており、カップルはまとまっているが、アンケート調査の結果では連絡先の交換程度ということで、その後の状況確認までには至っていない。女性参加者は近隣市町の方が多く、男性は町内参加者が集まらない状況にあり、今後の事業のあり方を含め、検討の必要があると考えている。

質問

定住促進・まちづくり推進事業のタウンプロモーション事業についての事業総括として検証と評価、今後の取り組みは。

答弁

タウンプロモーション事業については、関係する団体が28年度、29年度で整備されたウェブサイトやブランドアイデンティティ等のツールを活かして、どのような方向性をもってPR活動を強化して

いくかという事が重要になると認識している。



北海道小学生バドミントン大会優勝

衛生費

地熱エネルギー維持管理経費

質問

壮瞥温泉地域に進出予定の企業から温泉利用に係る要望はあるのか。

答弁

企業からは温泉使用量の増量の

要望があったが、地域の温泉資源には限りがあるため、今後、温泉利用組合とも協議して執り進めたい。

資源ごみ処理管理

質問

生ゴミ回収を廃止することだが、住民の理解を得るため説明はどのように行うのか。

答弁

31年度に生ゴミ回収を廃止する予定だったが、関係機関との協議や廃止後の対策を決めた後、31年度中に町民に説明し理解を得た後、32年度に廃止と考えている。

農林水産業費

一般農政事業

質問

30年度にとつや湖農協への廃プラシック適正処理事業補助金を廃止したがその理由は。また、近隣町の現状は。

答弁

町の財政的な理由から廃止の判断をした。近隣町の現状は、洞爺湖町が補助金を出している。

質問

グローバルギャップの補助を取りやめた理由は。また、他町の補助の状況は。

答弁

3年程度という時限を切った補助で30年度から見送りとした。他町では、洞爺湖町と豊浦町が継続している。

堆肥センター運営事業

質問

堆肥センター管理・運営調査業務の委託事業の効果は

答弁

販売については道内肥料会社への足がかりがきている。堆肥施用の指導助言には、若手農業者の参加もあり、土づくりを展開する素地ができたと考えている。

質問

堆肥の販売先は他へ求めるより町内消費を大きくすべきでは。

答弁

町内で利活用され、土づくりにつながるのが一番と認識している。今後も町内農業者への利用の働きかけをおこなっていききたい。



旗の波運動の様子

農業研修生用シエアハウス整備事業

質問

シエアハウスの利用実態は。

答弁

当初は6名5部屋が利用されていたが、現在は3名2部屋が利用されている。利用者とルールを決め、町が調整しながら運用している。

商工費

商工振興一般

質問

特産品開発支援事業とテイクアウトコーナー検討事業の実績は。

答弁

特産品開発支援事業は、昨年、3件の問い合わせがあったが実績に至らなかった。テイクアウトコーナー検討事業は、昨年、長期の店舗の継続運営に向けた取り組みを行ったが思うような結果にならなかった。参加者の事業意欲は高いので今後も活動を続けたい。

中小企業振興対策

質問

起業化促進補助金が利用されな

かったが実態は。

答弁

活用はなかったが2件の相談があった。今年度も数件の相談があり、この事業に目が向けられていると感じている。

質問

補助金が中途半端ではないか。また、本町の目的に沿った具体的な起業化促進補助金の運用も含めた工夫が必要ではないか。

答弁

他町の取り組みも参考にしながら本町に適した運用も今後検討したい。

質問

住宅リフォーム支援事業の評価は。

答弁

毎年ほぼ満度に利用されており、定住対策と商工事業者の利益に繋がっている。

観光振興一般

質問

昭和新山地区の現状認識と今後の環境整備の考えは。

答弁

昭和新山地区は町を代表する観光地域として相応しいものになっていないと認識している。個人の財産に行政がどこまで踏み込めるか難しい部分があるが、今後も昭和新山地区の皆様と協議しながら検討していききたい。

土木費

道路橋梁維持経費

質問

町道パンケ川右岸線改修工事です3回の工期延長と、事故繰り越しとなった原因は何か。

答弁

当初の工事発注は7月だったが、下流での農業用水の利用のための延期や、台風、大雨による水量増、大雪による施工箇所特定の遅れが

重なり工期延長せざるを得ず、事故繰り越しとなつて今年6月に工事完了となつたもの。今後は、的確な状況把握に努め、できるだけ早期の工事発注を心掛けたい。

教育費

中学校費

質問

中学校統合前には地域から不安視する声もあったと聞かすが、統合後の学校、生徒、保護者の状況はどうか。

答弁

久保内から通学する生徒を含め、皆伸び伸びと学校生活を送っており、学校や地域からも、学習活動、日常生活において問題があるとの報告はない。

質問

中学校の統合により900万円程度の歳出削減になつたと思つが、統合による地方交付税の減額はどの程度か。

答弁

学校数、生徒数、学級数等の算定要素があり、5年間で減額されて行き、最終的には1500万円程度と見込まれる。

給与費

職員手当等

質問

時間外手当支給が、一部職種、職員に偏っている傾向にないか。

答弁

職種により繁忙時期等に突出することもあるが、各所管課において偏らないように配慮や、適切な業務管理に努める。

特別会計

介護保険特別会計

質問

29年度から社会福祉協議会に委託して、生活支援コーディネーターを配置してきたが効果は。

答弁

この制度が創設される前から社会福祉協議会の職員がボランティアや介護等でコーディネーターの役割を果たしてきた。多岐にわたる職務、業務の推進の中で、地域包括支援センター職員の町在歴が浅いことから、生活支援コーディネーターが地域包括支援センタ

ー業務に必要な町内の情報提供やサポートといった役割を果たしており、効果を上げているものと評価している。



壮瞥中学校 学校祭

工事発注状況

平成30年6月から
平成30年8月までの発注分

() 内は予定価格

- 道道洞爺公園洞爺線水道施設整備工事
50,328,000円(52,866,000円)
道栄・壮建特定建設工事共同企業体
- 仲洞爺団地2号棟建築主体工事
70,632,000円(73,936,800円)
道栄建設(株)
- 仲洞爺団地2号棟電気設備工事
6,423,840円(6,717,600円)
(株)堀口電気商会
- 仲洞爺団地2号棟機械設備工事
11,880,000円(12,560,400円)
(有)堀口水道
- 国道453号農業集落排水管路施設移設工事
40,554,000円(42,649,200円)
道栄・壮建・堀口経常建設企業体
- 町道建部線道路補修工事
2,732,400円(2,840,400円)
壮建興業(株)
- 壮瞥温泉団地6号棟屋根葺替・外壁塗装工事
22,464,000円(23,166,000円)
(株)出田建設
- 建部B団地3号棟屋根葺替・外壁塗装工事
17,928,000円(18,489,600円)
(株)中山工務店
- 建部B団地3号棟浴室等改善工事
28,512,000円(29,462,400円)
(株)中山工務店
- 町道滝之町下立香線舗装改修工事
3,672,000円(4,795,200円)
道路工業(株)日胆営業所

委員会レポート



議会総務常任委員会は8月6日、教育委員会の当面する課題について、教育委員と総務常任委員の懇談会を開催しました。その概要について報告します。

総務常任委員会調査報告

◆はじめに

近年壮警町の人口は年々減少、児童生徒数も減少をたどり、中学校施設も建設後40年が経過し老朽化など課題を抱えています。

久保内小学校のあり方

久保内小学校の児童数は激減し、現在5名が複式学級で学んでいます。このような状況の中で教育委員会は29年度より議論を重ね、未就学児を含む保護者を対象に意見交換会、アンケート調査と分析を行い、30年度も協議を重ね、8月1日に校区の全自治会・団体・小学校運営協議会等多くの皆さんに呼びかけ16名が出席して開催、未就学児を含む保護者から次の意見が出されました。

①今年の1年生を見ていると地域として淋しい。かわいそう。壮警小学校へ行くのも止むなし。

②何とか学校を残したいので議論はしたくない。反対。地域振興

を考えて欲しい。

- ③ 地域毎の振興策を考えるべき。休校はやむを得ないが復校を目指すと言っ意味で整理を。
- ④ 保護者の意見から統合止むなし。地域のお祭りなどに児童が参加出来る配慮が必要では。
- ⑤ 休校措置の方が良い。

◆早急に結論を

児童数の減少から保護者の意識にも変化があり、

- ・ 久保内から滝之町に移転して壮警小学校に通わせたいとする動きがあり、これにより地域がますます寂れるのではないかとの不安要素が出てきていることから考えることも必要では。
- ・ 久保内中学校の統合後、久保内小学校は残す考えだが、保護者の中に不安が生じてきている。
- ・ 久保内小学校は来年度3名の児童となることから地域での説明会后休校・閉校・統合について早急に結論を出すことが必要では。

- ・ 全体で見た時、教育を受けるきちんとした環境を整えることが必要で、1年延ばすことは考えられず短い時間ではあるが、半年後のこととして壮警小学校に通えることを考え、出来るだけ早く結論を出すことが必要。
 - ・ 次回の教育委員会で最終判断をしなければならぬのでは。
- 等々、多くの意見が出されましたが、教育を受ける子どもたちの幸せを願い、前向きに進めることが求められます。

教育行政の課題解決に向けて

教育委員会事務局から教育行政として推進している9項目について説明があり、そのうち、

- ・ ふるさとキャリア教育の取組
- ・ 学校施設の環境整備
- ・ フィンランド研修

等について意見交換を行いました。

◆今抱えている課題は

- ① 家庭学習時間の短時間化傾向

- ② 携帯電話・スマートフォン等の関わり方のルール作り
- ③ 望ましい教育環境の整備
- ④ フィンランド派遣制度のあり方が挙げられるとのことでした。

◆壮警中学校の建設

望ましい教育環境整備として、壮警中学校は建設後40年以上経過しており、建設当時は各学年2学級編成となっていたが、現在の学級数を考慮し、統合後6年以内の有利な補助金を活用しての建設計画の推進が必要では、といった意見交換を行いました。

◆フィンランド国派遣研修事業

壮警町の誇れる中学生のフィンランド国派遣研修事業は32年度までとする計画だが、できるだけ継続することが望まれており、今後、制度の内容や派遣方法について経費削減を目標に、生徒数の減少等を勘案し、隔年派遣や一部負担等を検討しながら継続派遣できないか、といった意見交換を行いました。

薫風

「胆振東部地震が残した

これからの課題」

とつや湖農業協同組合

代表理事組合長 高井 一 英



胆振東部地震でお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、家屋損壊等の被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を願っております。

9月6日午前3時7分の地震では、寝床で突然の大きな揺れを感じ目が覚めました。すぐにテレビのスイッチを入れ、字幕で安平町が震源地であることを知りましたが、間もなく停電によりテレビは消えました。地震で木が倒れて電線に障害が発生し電気が流れないのか、2時間も待ったら復旧する

だろうと思っていました。

防災無線では「停電であり復旧の目途は立っておりません」との放送が流れ、どうなっているのだと疑問だけが残りました。携帯電話（スマートフォン）ではいろいろな方から

情報が流れてきて、震源地に近い厚真町・安平町では土砂崩れで生き埋めになっている方がいることや停電が全道的に発生していることを知りました。

地震の被害情報を聞いて驚き、この地域は電線が切れていないのになぜ電気が来ないのか、町内には3か所の水力発電所があり伊達火力発電所があるのになぜ停電するのかと思いました。厚真発電所が地震で被害を受け停電してしまつと北海道全体が停電する影響があること、厚真発電所の発電量が供給全体の40%を占めている事やブラックアウトを知りました。

町の防災訓練は毎年有珠山噴火を想定して実施しておりますが、今後は自主防災で停電についての備えが必要と感じたところです。今回の停電で電気が止まると普段の生活ができないことがわかり

ました。今回の地震で水道が止まらないように非常用自家発電機を活用して上下水道が通常どおり使用できる対応をとってくれた行政には感謝いたします。

今回の地震で行政が運用する緊急通信システム、FMビューは緊急情報伝達の放送ができたのだろうか。電波が弱い難聴地域でも皆さん聞くことができたのだろうか。職員が苦勞する広報車の広報活動は効果があったのか。

町民は正確な最新情報が一番知りたい。だれもが自分で情報のやり取りができる携帯電話、スマホが一番多く使用される、現地の画像も送信されるので情報が正確で便利で使いやすい。しかし災害から半日くらいになると携帯電話各社の電波中継基地局の電源がなくなり使用できなくなる。

今回の停電で町民も自家発電機を自助で備える人がいると思われる。また、停電は農業・商業・観光業・住民にいろいろな事を考える機会になったと思われれます。

町民の代表である議会として、再度、地域の電力供給保全対応問題や、災害時の地域経済対策、高齢者や子供たちを含む町民の安全対策等、公助の取り組みとして何が必要なのかを常に考えていきたいと思えます。

編集後記

▼地震大国と言われる日本に生まれ過去幾多の体験。9月6日の胆振東部地震で犠牲・被災された皆様に哀悼とお見舞いを申し上げます。

▼記憶に残る地震は昭和27年3月、中学生時の十勝沖地震と余震。まだ冬期間のため教室の大きなストーブの上の蒸発皿の湯が大きく波打ち、外に避難。

▼今回は午前3時7分で熟睡と山崩れ、このため多くの犠牲者が。この地震で学ぶこと多く日常生活で対処すべきこと。

▼2年続きの長時間の停電、初めて知った「ブラックアウト」、北海道全域が停電になる事態、現代社会で欠くことのできない電気。通電後「節電」の要請に町も家庭も実践。

▼日常生活で日ごろから各種災害を想定した備えることの大切さ、必要性を教えてください。教訓を今後町も町民一人ひとりの実践と備えあるのみ。(T・S)